

学校法人高知学園  
高知リハビリテーション学院

# 学 院 報

学院報第12号

学校法人 高知学園  
高知リハビリテーション学院

平成22年5月1日発行

発行

学院報編集委員会

〒781-1102  
高知県土佐市高岡町乙1139-3  
Tel 088-850-2311  
Fax 088-850-2323  
<http://www.kochireha.ac.jp/>  
E-mail:kochi-reha@kochireha.ac.jp



これからのリハビリテーション

学院への抱負

学院長 大倉 三洋

高知リハビリテーション学院は昭和四十三年、私学で最初の理学療法士養成施設として開校し、昭和五十年には三年制から日本で最初の四年制度の養成校に、また昭和五十五年には専修学校認可、昭和六十二年には佛教大学通信学部との幣習制度の導入（現在…人間総合科学大学）、また、平成五年には作業療法学科、平成九年には全国の養成機関に先駆けて言語療法学科をそれぞれ増設するなど、リハビリテーション専門職の総合学院として前学院長であられました中屋久長先生を中心に全国の養成機関のリーダー的な役割を果たしてまいりました。

しかし、近年、養成校の急増、特に大学、大学院レベルでの養成教育が主流となってきた。また十八歳人口の減少の中での高等教育機関への進学率についても大学教育の実学シフト化（大学の専門学校化）、大学のユニバーサル化などにより専門学校への進学率が減少傾向にあることなど本学院を取り巻く現状は厳しくなってきた。これから開校五十年に向け、大学化も含めた今後の学院のあり方について積極的に検討し、できることから具体化していく時期に来ている。

また、今年で開校四十二年目を迎えますが、その歴史と伝統の中で培われてきた卒業生との絆、これは本学院の誇りであり財産であります。平成二十二年現在の卒業生の数は、理学療法学科一九九名、作業療法学科四一七名、言語療法学科二八九名、合計一九〇五名となり、北は北海道から南は沖縄まで岩手県を除く全国各地で活躍しております。日々の授業は勿論のこと、四次での臨床実習や就職活動においても卒業生の有形無形の恩恵を受けており、臨床実習施設の数、施設の内容また就職に関しても全国の病院・施設から求人依頼をいただき、その数は全国のトップクラスであり、まさに学院の運営において卒業生は無くしてはならない存在となっております。このような、卒業生との絆は学院での学生生活の中で培われていくものだと思います。本学院では、日々の授業は勿論のこと、学院の行事、クラブ活動も教育の一貫として積極的に支援いたしております。学生が学院行事やクラブ活動を通して目標に向かって努力する姿勢や協調性を身につけるとともに、良き友人や先輩との出会いを大切に、より充実したキャンパスライフを送っていただけるよう教職員一丸となって応援していきたいと思っております。

# 学生生活を振り返って



理学療法学科  
横山 詩乃

このように学院生活の四年間が終わる日が来たこと、そして自分が卒業したのだということにまだまだ実感がありません。しかし、思い返すとこの四年間というのは、長いとか短いとかでは言い表せないようなとても濃いものでした。入学してすぐ不安だらけの中で、クラスの総務をすることに悩んだときには、どうしようかと思いましたが、気が付けば四年間ずっと総務をしていました。とは言っても、総務と言うのは名前だけでいつもみんなに助けてもらっていたように思います。

一年の冬、私が交通事故で入院してしまつたときには、クラスみんなが千羽鶴をおつて病院に駆けつけてくれたり、毎日授業のノートをとつて病院まで届けてくれました。

学院祭やレク、その打ち上げなどでは、声をかけるとみんなが案を出し合つてくれることで、



作業療法学科  
山中 沙季恵

高知リハでの四年間は、レクや学祭、実習に国家試験などが途切れることなくあり、まさに「あつ」という間でした。入学するまで聞いたことのなかった言葉や、医療のことなど、一度に覚えなければいけないことが多すぎて、「自分には無理かもしれない」と思うこともありました。そんな私でもここまで来られたのは、辛



言語療法学科  
土居 奈央

長いと思つていた四年間は瞬く間に過ぎ、卒業の日を迎えました。振り返ってみると、四年前に初めて教室に入った時、正直、不安でいっぱいでした。しかし、入学してからすぐに行われる言語療法学科のみでの交流会、全学科で行われるレクリエーション大会等のおかげで、皆と仲良くなるために多くの時間は必要ありませ

いつも最高の力を出し切ることができました。勉強面では、日々の授業やレポート提出、テスト勉強や実技の練習、そして臨床実習や国家試験に向けての班での勉強などそのどんなときでも、くじけそうなきは話を聞いて励ましてくれたり、涙を流してきて、苦手分野は教えあいながら一緒に乗り越えてくることが出来ました。一人では何にもできなかったと思います。そんな四年間を終えて今思うのは、「つながり」の大切さです。素敵なクラスの仲間、いつも親身になって私たちのことを考えてくれた先生方、学院のみでなく実習先など全国にいる頼もしい先輩の皆様方、まだまだ増え続ける後輩たち。たくさんの「つながり」のなかに私がいるのだということを絶対に忘れてはならないと強く感じています。

私は就職して県外に行きます。しかし、高知リハの卒業生であるということを忘れず新しい場所で、一歩一歩踏みしめて新しいつながりを作つていきたいと思つています。四年間本当にありがとうございました。

いとき周りには必ず誰かがいてくれたからだと思つています。楽しい時も辛い時も一緒にいてくれたクラスみんな、個性的なクラスを引つ張り見守つてくれた担任の先生、質問に行くとき話りやすく教えてくれた先生方、実習先でお世話になつた先生方、いつも心配し励ましてくれた両親：この四年間で得た、数え切れないくらい「一人」との出逢いや関わりは、これからどこへ行つても消えることのない繋がりにだと思つています。高知リハでしか学べないこと、感じられないことがたくさんあり、楽しくて濃い学生生活でした。本当にありがとうございました！

## 就職ガイダンスの報告及び 平成二十一年度就職状況について

就職情報指導室

昨年の十月十七日、本学院四年次生を対象に高知県内の病院を中心とした合同就職説明会が開催されました。三十七施設七十名の採用担当者にご参加いただき、熱気あふれる就職説明会となりました。

また、平成二十一年度の本学への求人数(求人数)は、千六百三十件(三千九百九十三名)となっております。各学科の卒業生は左記の病院・施設に採用決定しましたので報告いたします。

### 理学療法学科

- 《高知県》 田野病院・野市中央病院・JA高知厚生連・南国中央病院・南国厚生病院・いづみの病院・高知病院・高知赤十字病院・社会医療法人近森会・海里マリン病院・えたいげ整形外科・細木病院・高知生協病院・厚生年金リハビリテーション病院・関田病院・白菊園病院・清和病院・須崎くろしお病院・ネオリゾートちひろ病院・くぼかわ病院《茨城県》 石岡循環器科脳神経外科病院《千葉県》 船橋市立リハビリテーション病院《山梨県》 甲州リハビリテーション病院《愛知県》 愛知リハビリテーション病院《京都府》 京都博愛病院《大阪府》 医療法人愛仁会・城山病院・南谷クリニック・大阪発達総合療育センター《兵庫県》 ウェルハウス川西《岡山県》 岡山協立病院《広島県》 公立みづき総合病院・興生総合病院《香川県》 三豊市立西香川病院・松井病院・総合病院回生病院《徳島県》 国立病院機構徳島病院

### 作業療法学科

- 《高知県》 田野病院・JA高知厚生連・南国中央病院・南国厚生病院・いづみの病院・高知病院・高知赤十字病院・社会医療法人近森会・海里マリン病院・えたいげ整形外科・細木病院・高知生協病院・厚生年金リハビリテーション病院・関田病院・白菊園病院・清和病院・須崎くろしお病院・ネオリゾートちひろ病院・くぼかわ病院《茨城県》 石岡循環器科脳神経外科病院《千葉県》 船橋市立リハビリテーション病院《山梨県》 甲州リハビリテーション病院《愛知県》 愛知リハビリテーション病院《京都府》 京都博愛病院《大阪府》 医療法人愛仁会・城山病院・南谷クリニック・大阪発達総合療育センター《兵庫県》 ウェルハウス川西《岡山県》 岡山協立病院《広島県》 公立みづき総合病院・興生総合病院《香川県》 三豊市立西香川病院・松井病院・総合病院回生病院《徳島県》 国立病院機構徳島病院

### 言語療法学科

- 《高知県》 田野病院・南国厚生病院・いづみの病院・高知病院・社会医療法人近森会・リハビリテーション病院すこやかハビリ愛宕病院・横浜病院・白菊園病院・木俣病院・高知大学医学部附属病院・高知医療センター《静岡県》 浜松リハビリテーション病院《岡山県》 倉敷中央病院《香川県》 橋本病院《徳島県》 国立病院機構徳島病院・佐藤病院・鴨島病院《愛媛県》 西条愛寿会病院

# 卒業研究発表会

## 理学療法学科 副補導主任

平賀 康嗣

平成二十一年度卒業研究発表会が、平成二十一年十二月一日(火)・二日(水)・三日(木)の三日間に渡り、本学院において開催されました。本年度は、七回目の三学科合同開催及び理学療法学科学生増員体制による二回目の三日間開催であり、理学療法学科六十八名、作業療法学科三十一名、言語療法学科三十一名、合計百三十名が卒業研究の発表を行いました。

## 作業療法学科 補導主任

石元 美知子

三十一名の学生が卒業研究発表を行いました。内十六名は人間総合科学大学の卒業研究も兼ねての発表となりました。テーマは、記憶・注意・遂行機能などの高次脳機能、高齢者と環境、環境と作業遂行や集団力動の関係、自具や福祉用具、環境と姿勢・運動をみる動作分析など様々です。今年、国家試験に向けて二年生から文献を探

## 言語療法学科 補導主任

本田 梨佐

一年次からゼミ活動をしていた学生であった為、発表することには慣れていて思っていました。四年間の集大成を発表するとなると研究発表当日は皆、緊張していました。

自分でテーマを見つけ、そして、論文を書き上げることは大変、難しく、厳しい道のりだったと思います。その

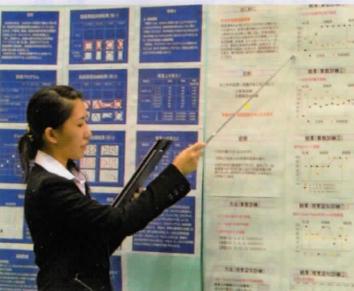
学科十六名、言語療法学科十六名、合計八十四名で、これらの学生は大学の卒業研究も兼ねた形での発表となりました。

この卒業研究は、年々難易度が上がる国家試験対策に負担がかからないように早い学生では二年次から取り組んでおり、学生はもちろん各担当教員の対応も重要な要素を占めていることが大変印象的でした。今後は、この学習経験を活かし、これからの臨床活動において活躍されることを切に願っています。



し、四年生の初めには論文を書き上げるようにしました。興味や関心を形にしていくことは難しい道のりですが、それぞれに個性的な発表となりました。発表会では、自分の研究し得たことを、人に理解してもらえようように伝えるということも学生個々に頑張っていました。卒業後はこの経験を生かして研究活動を続け、より良いOTを提供できるようにしてほしいと願っています。

ため、終わった後の笑顔はとても輝いていました。人科大を併修していた学生は一年次から誰も途中で諦めることなく、最後の発表も全員で協力して終えることができ、本当に良かったと思います。卒後も日々の臨床活動の中で、疑問を持ち、それについて解決する姿勢を忘れず、患者様により良いアプローチを提供することに努めてほしいと願っています。



## 人間総合科学大学併修についての報告

高知リハビリテーション学院では、平成十二年から人間総合科学大学と併修提携を結び、併修制度を取り入れています。この併修制度とは、同時に専門学校と大学で学ぶシステムです。本学院は、豊かな人間性と高い知性をもつことで品位を高めるといふ人間総合科学大学の理念に共感し、幅広い教養を身につけることが医療人の道を歩み始めたときに必ずや役に立つとの思いから、併修提携を結びました。

現在、約五割の学生がこの併修制度を利用していますが、平成二十一年度高知リハビリテーション学院卒業生のうち、六十八名が、人間総合科学大学人間学部人間科学科を平成二十二年三月二十一日に卒業しました。なおまた、平成二十二年入学人数は六十七名になる予定です。卒業生には、医療や介護・福祉の場面において大学で得た学識をもって対象者から信頼と敬愛の念を得て、活躍されるよう期待しています。

(学習相談指導室 山本)



# 知っとうせ

## 《これから第11回の巻》

### 臨床実習

病院や施設に行つて専門の知識や技術を実際に学ぶ学外実習のことを、医学分野では「臨床実習」と呼んでいます。なお看護分野では、いまは臨床実習という呼び方ではなくり臨床実習といひます。

臨床実習には、広い意味では、見学実習、短期実習、長期実習があります。しかし、通常は狭義の意味で、臨床実習は長期実習のみを意味します。長期実習である臨床実習は、学科によつていくぶん時期や期間が異なりますが、四年次生になると早々に始まります。高知県内とは限らず、学院が決めた病院(あるいは施設)で、一病院で六週間、八週間の実習をして、二病院または三病院を回ります。実習できる病院は北海道から沖縄まで全国各地に散らばつていて、実習する病院は学院側で指定しますので、学生が一人その病院に行つてアパート生活をしながら約二ヶ月間滞在して、診療の実際を学ぶこととなります。

実習生を指導してくれる人をスーパーバイザー(SV)と呼びますが、たいていの病院ではSVから man to man での指導を受けます。実際に、患者さんをSVと一緒に診察しながら、患者さんへの接し方など接遇の技術や専門の診療の技術を学びます。患者さんから好かれ信頼される医療人となるには、この期に技量だけでなく人間性も高めねばなりません。実習地の職員と同様の通学形態をとりながら、多くのことを学ばねばならず、最も努力を要する期間でもあるとも言えます。

患者さんや障害のある人から信頼と尊敬を得るためには、卒業後も日進月歩の医学で常に研学の精神を持ち続けてもらふこと、自己の人間的研鑽についてもその向上心と習慣を学生時代に身につけてもらふことが、私たちのモットーです。

(教務部 山本)

## 教員紹介



理学療法学科  
中野 良哉

私の生まれは葛飾柴又、千葉県で育ち、小学生時代はアメリカで一年間過ごしました。福岡で大学院生活を送つた後、本学院の言語療法学科の講師に招かれ、高知県にやってきました。言語療法学科では心理学系の科目を六年間教え、合わせて県の乳幼児健診の言葉の相談の仕事もさせていただきました。現在は理学療法学科の講師として、



作業療法学科  
大塚 貴英

私が、当学院での教育に携わり十年目(前職場からの出向期間を含めると十二年目となります。)の節目を迎えることとなりました。

担当科目は、二年次の応用作業学・義肢装具学・日常生活学、三年次の生活環境論を担当していますが、国家試験に関する手続きや勉強会の計画など



言語療法学科  
櫻木 理恵

高知リハビリテーション学院を二期生として卒業後、小児・成人の患者様を対象に八年間臨床の場に携わってきました。その間も戸惑い、悩むことも多くありましたが、学生時代に先生方に教えていただいた知識・技術だけではなく、セラピストとしての姿勢・心構えが現在の言語聴覚士としての自身の礎となっているように感じております。

理学療法と言語療法との両コースの心理学系の科目を担当させていただいています。日本とアメリカ、千葉県と高知県、研究と臨床、心理と医療、理学療法と言語聴覚療法と、さまざまな文化に接触してきた結果、幅広い複眼的な視点でものごとを判断することの大切さを学習しました。そうした自分の特徴を生かして、学生諸君の成長の糧となるような刺激を与え続けられるように、精進してゆくことができればと願っています。どうぞよろしくお願いたします。

の担当もしています。

また、本年度は第十八期生(本年度の新入生)の補導主任を任されることとなりました。これからも、臨床実習や国家試験などで、保護者の皆様や諸先輩、卒業生の力をお借りすることが増えるかと思いますが、全員が無事卒業し、対象者に信頼されるセラピストになれるよう指導して参りたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

今回、縁があり本学院で勤務させていただくこととなり、一年生の副主任を担当させていただいております。今日まで学生と接する中で新鮮さを感じながらも、しっかりとした指導ができるように私自身も研鑽を積み重ねて日々感じております。専門家として必要な知識はもちろんですが、今度は私自身が学生時代に先生方から教わったセラピストとしての姿勢・心構えを、学生達に伝えていけるよう努力してまいりますので、今後とも御指導御鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

### 公文 省良

### 事務長挨拶

平素は、本学院後援会の運営につきまして、役員及び保護者の皆様方にはご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。後援会は本学院の充実発展を図り、教育の振興と学生の福利厚生を推進することを目的としており、本年度は総会におきまして①学院祭、よさこい祭、クラブ活動等の福利厚生に対する助成 ②図書室充実のための助成 ③就職業務に関する助成 ④保護者との連携を図るための広報誌の発行 ⑤学院校舎外の環境整備 ⑥教職員の教育研究向上のための助成等が承認され、これらの事業を適正に執行することにより、学生にとってよりよい教育環境づくりを目指したいと思っております。



### 学院祭を終えて

作業療法学科 坂本 和弥

昨年度の学院祭では二日間わたり、各クラスでの出店や、外部の方も自由に参加できるビンゴ大会、学生で企画されたクラス自慢や、カラオケ大会など多くの催しを運営いたしました。本番が近づくにつれて、準備に追われ学校全体が慌ただしくなり、成功させる事に対しての不安もありました。また、今年度はインフルエンザの影響により、一時はどうなる事かと思いましたが、実行委員会や各イベント係を中心に学生が一丸となって学院祭に挑み、先生方のサポートやご指導のおかげで、何とか成功させる事が出来ました。

当日は、地域の方々と、先輩方に立ち寄って頂き、大盛況でありました。また大きなハブニングもなく、例年以上に明るく楽しい学院祭になったのではないかと思います。

企画運営をしていく中で、自分一人の力だけではなく、学生、実行委員、外部の方々や先生方のおかげで無事成功させる事が出来たと思っております。来年度の学院祭も明るく楽しくあつてほしいと思います。本当にありがとうございます。



### クラブ紹介

理学療法学科 二年 井手 雄大

「自由気ままに練習」がモットーの軽音部です。主な活動は十月中旬に行われる学院祭でのライブ活動、及びそれに向けての練習です。いつでも日頃は練習したい時に練習するといったモットー通りの活動となっています。

昨年は晴れて部として認められ、器材としてドラムを導入することができました。これによってドラムを加えた練習ができるようになり充実度が増しました。そして十月中旬に行われた学院祭では全四組でライブを行い、見ている側を巻き込んでの大変な盛り上がりを見せました。

そして今度はさらに楽しく、かつ盛り上げていきたいと考えています。以前から行っていた経験者の方は勿論、少しでも興味のある方は是非とも軽音部へ。学院祭で盛り上がりましょう、楽しみましょう。



### 図書室だより

依光 朋子

図書室の休日開室利用状況について

図書室の開室日は月曜日、金曜日となっております。ただし月に一回程、休日も開室しています。これは主として、臨床実習中の四年生

のための開室ですが、もちろん一年生、三年生の利用も大歓迎です。平成二十一年度は初めての試みとして、臨床実習期間に合わせての開室を実習終了後の後期も実施しようと、休日開室を延長しました。実習期間中はやはり四年生の利用が多く、文献検索等資料集めに奮闘しているようでした。中には県外からわざわざ帰省して利用している学生もいました。

実習が終わった十一月の開室からは、利

用がどれくらいあるのか正直気が気でないのですが、蓋を開けてみると満員御礼のような賑わいで驚きました。後期は、一年生、四年生まで、課題の学習や試験勉強などで図書室を利用しているようでした。休日にも関わらず、熱心に勉強している姿をみると開室してよかったと安心しました。

また、休日開室は卒業生も利用しています。休みの日に母校の図書室を利用し、臨床に生かせる知識を蓄えているようです。休日にも有意義に過ごせる図書室になるよう、皆さんの意見に耳を傾けつつ、今年も日々邁進していきたいと思えます。



### 保健室だより

中村乃理子

インフルエンザ対策について

新型インフルエンザが国内で初めて確認されたから、早一年近くになりました。インフルエンザの予防のために、とマスクの品切れが続いたこともありました。

インフルエンザの予防法は、新型も季節性のインフルエンザも変わりません。使い捨てマスクの使用やうがい、ウイルスが皮膚の粘膜に付着し感染することを防ぐために手洗いの励行、アルコールによる手指の消毒が有効です。学内でも各教室や図書室、食堂等の入り口やトイレなどに手指消毒剤

を設置しています。また咳が出る学生は、咳エチケットとして自主的にマスクをつけるようになりました。

予防するためには毎日の生活習慣が基本です。手洗いとうがいを習慣にし、食事、睡眠、休養で健康管理をしましょう。栄養バランスのとれた食事、十分な睡眠、休養がとれているかなど、たまには毎日の生活を振り返ってみることも予防に繋がると思っています。流行時期だけでなく一年を通して気をつけるようにして下さい。



## 全国で活躍する卒業生シリーズ⑫

### 出会えてラッキー

作業療法学科六期生

香川 寛



私が作業療法士として働きはじめ  
てちょうど九年目を迎えました。も  
ともと生活に一番近い所で働きたい  
と思っていた私は、病院で六年間作  
業療法士としての基本を勉強させて  
頂き、今は市内の訪問看護ステーシ  
ョンに移り訪問リハの業務に従事し  
ています。主に脳卒中や頸髄損傷な  
どの身体障害の方や脳性麻痺などの  
発達障害の子供さんへの訪問リハを  
行っています。

在宅という現場は利用者さんのリ  
アルな生活が見えやすくニーズが分  
かりやすい反面、そのニーズは多種  
多様で、それらの課題を解決してい  
くためには幅広い柔軟な対応力が必  
要だと思っています。身体機能のこ  
とはもちろん、福祉用具や環境のこ  
と、ケアに関すること、その他生活  
に関わること諸々。十人利用者さん  
がいれば十通りの生活があり、解決  
していかないといけない課題も人そ  
れぞれ違います。また在宅では利用  
者さん本人だけでなく、その家族の  
サポートも必要になってきます。在  
宅での関わりを考えた時あくまで個  
人的な感覚ですが、作業療法士とし  
てというよりも、作業療法という技  
術・視点を持った一個人として利用  
者さんや家族とお付き合いをさせて

もらっているような…。訪問リハと  
いう業務を通し生活の持つ奥深さと  
いうものを実感させられ、利用者さ  
んから作業療法士としても人として  
も日々勉強させていただいています。  
そもそも作業療法士を目指したき  
っかけは、TVドラマの影響で白衣  
を着たいというとても不純なもので  
した(笑)。しかし高知リハに入学  
し作業療法というものを知るにつれ、  
その面白さと奥深さ、自分の関わり  
が人を支えるというやりがいや学び、  
また作業療法士となつてからは出会  
った方々を通して人としても成長さ  
せてもらっていると感じています。  
きっかけは白衣を着たいという不純  
な動機ですが、今では作業療法とい  
うものに出会えて自分は本当にラッ  
キーだったと思っています。  
作業療法士としても人としてもま  
だまだ未熟な自分ですが、患者さん  
や利用者さんに『この人に出会えて  
良かった』と思ってもらえるような  
作業療法士を目指し、一歩一歩前進  
していきたいと思っています。

### 平成22年度年間予定表

4月3日	入学式
4月5・6日	オリエンテーション・健康診断
4月7日	前期授業開始
4月16日	レクリエーション
7月28日～8月5日	前期定期試験
8月6日～9月30日	夏季休業
8月10日・11日	よさこい祭参加
8月21日	土佐市大綱まつり
10月1日	後期授業開始
10月10・11日	学院祭
12月10日～16日	3年次生後期定期試験
12月21日～1月6日	冬季休業
1月23日	学園記念日
2月10日～21日	1・2年次生後期定期試験
3月13日	卒業式
3月21日	春季休業

### 食欲旺盛な学生で賑わう食堂



食

堂

豊富なメニューの日替りランチは人気  
抜群